

火災避難訓練実施

2月27日(月)、火災避難訓練を実施しました。北風が強く吹き、雨がぱらつくとても寒い日でしたが、皆真剣に訓練に臨んでいました。

■しおさい春日・のぞみ合同訓練

春日とのぞみの合同訓練では、湯沸し室から出火したという想定で行われ、職員の誘導で中庭に避難しました。その後、消火器の使い方についての説明と実践が行われました。毎年行っているのですが、手慣れた動作で操作するメンバーもいましたが、慣れていないメンバーは、消防署員の指示を聞きながら操作をしていました。



■しおさい三崎訓練

三崎では、厨房から出火したという想定で行われました。

火災発生のお知らせを受け、メンバーと職員は、公園前の駐車場へ避難しました。

その後、春日と同じく消火器の使い方についての説明と実践が行われました。こちらも毎年行っているのですが慣れたメンバーもいて、的をめぐらして放水していました。その際、メンバーの一人が「消火器を使う前に逆さまにして振るわなくていいんですか」との質問がありましたが、署員の方は「そうする人もいますが、現在は、点検さえ行ってあれば、その必要はありません」と回答されました。



●講評

訓練終了後の講評では、①火災を発見したら周囲の人に大きな声で知らせる。②119番通報は、千葉市の指令センターに入るので、必ず“銚子市”をつけて住所を言う。③火が天井まで届くほどの大きさになってしまった場合は、消火器等での消火はあきらめてすぐに避難する。火が小さいうちは消火器でも消せるので、今後もこのような訓練をして欲しい。④火災で恐ろしいのは煙なので、ハンカチやタオルなどで口を押え、姿勢を低くして避難する。決して建物内に戻らないこと。という指摘がありました。



本多病院関係者見学

2月23日（木）、香取市にある本多病院の精神科で入院・療養されている方と支援している方13名が来所されました。

山本さんの挨拶に続いて、田村さんがパワーポイントを使ってしおさいを始めとした6事業について説明して、各施設について理解して頂きました。その後の質疑応答では、パンの種類や新製品への取り組みなどの質問がありました。最後に、出来立てのパンを購入して見学終了となりました。見学にいらした皆さんが、少しでも回復して、まずは一般就労を目指して力を身に付ける就労支援系の施設に通所できるようになられることを祈っております。



▲本多病院関係者の皆さん



靴箱と荷物置き箱製作

就労移行の職員とメンバーが、双葉放課後児童クラブ（銚子市新生町・中央みどり公園西側）から依頼された48人分の靴箱（写真左上・2台）と、ランドセルや持ち物を入れておく棚型の箱（写真左下・6台）を製作しています。3月中に納品するため、鋭意作業を行っています。



～編集後記～

今までであるのが当たり前だと思って利用していたお店が、いろいろな事情で閉店するというのはとても残念で、今後どうしようかと考えしまいます。2月の下旬、いつものように行き付けの旭市にあるCD店でお目当てのCDを購入して家に戻ったところ、袋の中に「お客様へ」と書かれた紙が入っていました。そこには「毎度ご利用いただきまして、ありがとうございました。変わりゆくCD業界におきまして尽力してまいりましたが、このたび4月15日をもちまして閉店させて頂くことになりました。永きにわたり多くのお客様にご愛顧賜りましたことを心より感謝申し上げます。」とありました。この店は私の好みのジャンルのCDが銚子市内のCD店より充実していたので、頻繁には行かないまでも結構利用していました。それだけに非常に残念で仕方がありません。正直に言えば私も便利なネット通販でCDや本を購入してしまうこともあるのですが、個人的には、CDや本は通販ではなく、店で買いたい派なのでやはり多少のショックは感じています。皆さんにもそんな経験はありませんか？